

平成26年度 第2回 東春近地域協議会会議録

開催日	平成26年10月15日(水)						
開催時間	開会	午後7時			閉会	午後8時35分	
開催場所	東春近公民館(春近郷ふれ愛館) AVルーム						
委員の出欠 出席 17名 欠席 2名		委員氏名				委員氏名	
	1	中村 秀司	出	11	酒井 秀男	出	
	2	井上 一雄	出	12	原 弘 幸	欠	
	3	奥村今朝徳	欠	13	伊藤 節子	欠	
	4	眞 庭 實	出	14	荻原 千里	出	
	5	吉原 稔	出	15	戸田 義美	出	
	6	唐澤今朝吉	出	16	山本ひろみ	出	
	7	稲村 守	出	17	中村 正樹	出	
	8	川口 隆	出	18	熊谷みさ子	出	
	9	織井 徹	欠	19	小林 敏明	出	
	10	小坂 宏	出				
署名委員	眞庭 實			吉原 稔			
条例第10条の規定 により出席した者	なし						
市側の 出席者	企画情報課	宮原 貴敏		企画情報課	中村 克俊		
出席した 事務局職員	東春近支所長		牧田 豊				
協議事項	<p>1. 協議事項</p> <p>(1) 地域自治区のありかたについて</p> <p>(2) その他</p>						
配布資料	<p>地域自治区のあり方の検討について</p> <p>伊那市地域自治区制度審議会会議経過</p> <p>今後の地域自治区の選択肢</p> <p style="text-align: right;">ほか</p>						

■概要

1 開会 事務局進行

事務局 本日は地域自治区のあり方について、現在進行している地域自治区審議会の担当者が来て意見交換をします。

2 あいさつ

唐澤会長：合併から 10 年たとうとしている。地域協議会と言うと東春近には地域協議会があるので今ひとつピンとこないのが実情。率直な意見交換を願いたい。

企画情報課宮原係長：大変お忙しい中お集まりいただき本会を開催いただいたことに感謝する。本日は地域自治区のあり方を検討いただきたくお集まりいただいた。合併後 10 年を迎えるにあたり忌憚のないご意見を賜りたい。

3 資料に沿って現状説明

企画情報課宮原係長

4 意見交換

会長 各地区などの状況説明があった。これからどのようにしていくか、どう考えるのか、ご意見をいただきたい。

事務局 旧伊那市の旧 6 村部はどのような意見があるのか。

宮原係長 この会議と同様の会議は先日富県が終わったばかりで、東春近が 2 か所目。旧 6 村部は区長会などの既存組織がしっかり決定機関として機能しているので、地域協議会が果たして必要なのかという感じが強かった。

地域の声を尊重するのが第一であり、それを市政に反映することが重要。したがって地域自治区のあり方は重要であると審議会でも確認されている。

委員 地域協議会と言うものは、なくても良い物なのか？

宮原係長 地域自治区を置くと地域協議会が必ず設置されることになっている。条例を廃止すれば地域自治区は無くなる。

委員 市としては条例を廃止しても問題ないか？

宮原係長 条例廃止も一つの選択肢であり、問題はない。

委員 東春近は地区協がある。地区協と地域協議会はかなり近い物なので2つ必要なかは疑問である。

宮原係長 東春近には地区協議会、西春近には自治協議会があり、地域協議会がなくとも同様の機能は果たしている。よって地域協議会が不要だという意見もある。

委員 各地の自治区を同じ形にする必要はあるのか。

宮原係長 組織的に同様な形をとる必要はない。しかし、審議会でどのような答申になるかは今のところ分からない。全市一体的な方向もあり、旧伊那市は廃止して高遠、長谷のみ続けるという選択もある。審議会の答申により市長が判断し議会にて承認と言うかたちになる。

委員 本日の会議（地域協議会）は実質的に機能していないと思う。市長の諮問も答申も別途の会を立ち上げての場があり、これまで新しい施設への答申などもそうであった。

事務局 過去に地域協議会で諮問を受けて答申したことや、地域の決定事項を地域協議会で行ったことはないと思われる。

委員 上とか下とかではないとは思いますが、実際には地区協の方が上ではないか。

委員 規則などはないが、地区協のあり方も一緒に考えると良いのでは。地域協議会では諸事を決定することは出来ないので結局地区協で決めることになる。

委員 実質的には区長会が決めて、大きなことは地区協で承認している。それが東春近の形だと思う。地域協議会は空回りしている。

委員 地域自治区を残すならば各種団体の長の負担軽減も一緒に考えてほしい。

委員 高遠、長谷の地域自治区が法律により10年で終了ならば法律どおりに終わらせるべきだ。自治区長の給与なども我々が負担している。特別扱いはおかしいと思う。同等にやって欲しい。

委員 高遠、長谷の皆さんは不利な状況にならないようにという意識が強いのでは。強引に一つにすることは難しい。

委員 たとえば、ここで話している地域住民の意見は市報などに載るのか？

宮原係長 広くパブリックコメントのような形で市民から意見をいただき、それをお知らせしていく形になると思う。

委員 地区協が地域協議会になればよいのでは。

宮原係長 それもありうる。

委員 中山間地への補助金などはあるのか。

宮原係長 高遠、長谷は過疎地域の指定がされてるので過疎債…借金ですが…が有利な財源として充てられることはある。

委員 農業に関してはあるのか。

企画課中村主査 伊那地区、高遠、長谷で特別な違いはない。

委員 地区協、地域協議会、ともにその委員に就任しても、その意図がわからずに終わってしまうことが多い。どちらも住民からの要望で行っていない。

委員 地区協と地域協議会の委員も同じような感じだったが。

委員 地区協の理事の内、市会議員を除いた人が地域協議会の委員となっている。実に大差はない。

委員 皆さんに多くの意見をいただいて地域自治区、地域協議会、さらには地区協の問題点なども見えたと思う。本日は意見交換なのでこのへんで終了としたいがよろしいか。

一同 異議なし

会長 それでは地域自治区に関する意見交換はこれにて終了とする。

5 その他
特になし。

6 閉 会 以上をもって、平成26年度第2回東春近地域協議会は終了とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名委員において下記の通り署名する。

平成26年10月15日

平成26年度 第2回東春近地域協議会 会議録

会 長 唐澤 今朝吉

会議録署名人 眞庭 実

会議録署名人 吉原 稔